

各位

社会福祉法人 キャマロード
理事長 小林 信秋
総合施設長 出口 博喜
診療部 三宅 捷太

つづきの家における新型コロナウイルス感染者発症後の経過と今後のつづきの家診療所の対応について

令和2年9月7日に、当法人の設置運営するつづきの家の生活介護事業（はびねす）のスタッフより新型コロナウイルス陽性と判明しました。その後、保健所の指示により、濃厚接触者のPCR検査をし、また、法人の判断で、つづきの家に関係する全てのスタッフと生活介護事業に所属する利用者さんについて新型コロナウイルスPCR検査を行ない、9月8日の時点で、利用者1名より陽性が判明しました。その他は、9月12日の時点で、全員の陰性を確認しました。

濃厚接触利用者が所属するみどりスマイルホーム四・伍番館の全スタッフも新型コロナウイルスPCR検査を行ない、全員陰性を確認しました。

休止中の「横浜市多機能型拠点つづきの家」の各事業につきましては、感染防止対策を一層強化しつつ、現在、再開に向けた準備を進めております。

上記結果を踏まえ、9月23日以降は、つづきの家全体で通常通り運営をさせて頂くことになりました。今後、状況に変化がありましたら、随時情報を公表してまいります。

ご関係の皆さまにはご心配をおかけしておりますが、スタッフ一同、引き続き感染予防に努めてまいりますので、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【短期入所（ショートステイセンターらら）のご利用の方へ】

この度、他事業所での新型コロナウイルス陽性を受け、つづきの家診療所の病室に熱発外来を創設しました。創設した理由としましては、新型コロナウイルス感染症の診察及び検査や今後、季節性感染症（インフルエンザ等）の診察の際に、一般外来と区別をして感染拡大を防ぐ目的があります。

但し、病室は医療型短期入所（さくら草）で宿泊をしている場所でありますので、一時的に病室を利用しての宿泊が難しくなります。その関係上、宿泊ベッド数が減少し、現在、ご予約を頂いている利用者の方々にキャンセルをさせて頂く場合もありますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。今後、病室での宿泊が難しい事から、**医療型短期入所**での申請ではなく、**福祉型短期入所**の申請でのご利用になるため、予め、ご了承下さい。（医療型も福祉型もサービス内容に差はありません。申請方法の違いだけです）

大変急なお願いではありますが、ご理解・ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

以上